

MDC13 血液・造血器・免疫臓器の疾患

DPC 1300103, 1300603, 1300803 血液・造血系悪性疾患

血液・造血系悪性疾患には、急性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/白血球疾患（その他）/再生不良性貧血/貧血（その他）が含まれた。血液・造血系悪性疾患の入院件数が1件以上の医療機関は、174施設中165施設であった。また、血液・造血系悪性疾患の入院が多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。血液・造血系悪性疾患では、ほとんどの医療機関で死亡例が見られた。また、血液・造血系悪性疾患の平均在院日数は、3施設(入院件数:20件,25件,100件)において20日未満であった。血液・造血系悪性疾患の診療報酬〔出来高〕は、特定機能病院の方が高い傾向にあった。

図 MDC13-1 血液・造血系悪性疾患の入院件数

図 MDC13-2 血液・造血系悪性疾患における平均在院日数 (N = 8,528)

図 MDC13-3 血液・造血系悪性疾患における一入院当たり診療報酬〔出来高〕 平均値 (N = 8,766)

DPC 1300103x01~1300903x01 骨髄移植

骨髄移植の施行数の1件以上の医療機関は、174施設中81施設であった。また、施行数が多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。骨髄移植の粗死亡率には医療機関でバラツキが見られた。診療報酬〔出来高〕は、特定機能病院の方が高い傾向にあった。

図 MDC13-4 骨髄移植の入院件数

図 MDC13-5 骨髄移植の生存件数と死亡件数

図 MDC13-6 骨髄移植における平均在院日数 (N = 204)

図 MDC13-7 骨髄移植における入院当たり診療報酬〔出来高〕 平均値 (N = 211)

DPC 1300103 急性白血病

急性白血病の入院件数1件以上の医療機関は、174施設中129施設で見られた。また、急性白血病の入院件数の多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。急性白血病では、ほとんどの施設で死亡例が見られた。また、急性白血病の平均診療報酬〔出来高〕は、特定機能病院の方が高い傾向があった。

図 MDC13-8 急性白血病の入院件数

図 MDC13-9 急性白血病における平均在院日数 (N = 1,475)

図 MDC13-10 急性白血病における一入院当たり診療報酬〔出来高〕 平均値 (N = 1,542)

DPC 1301003 播種性血管内凝固症候群 (DIC)

最も医療資源を投入した症病名が播種性血管内凝固症候群 (DIC)(DPCコード1301003)である入院件数が1件以上の医療機関は、174施設中106施設であった。(入院後に合併したDIC発生数の解析については、MDC横断解析-5を参照のこと)

図 MDC13-11 年齢別・播種性血管内凝固症候群 (DIC)の発生数

MDC14 新生児疾患、先天性奇形

DPC 1400103 妊娠期間短縮、低出生体重に関連する傷害

妊娠期間の短縮や低出生体重に関連する傷害は MDC14 の全入院件数の約 16% を占めており、DPC の分類では「周産期に発生した新生児の傷害」について多い。平均在院日数は 3 週間強で特定機能病院とその他の参加病院で顕著な差はみられない。平均在院日数のバラツキは 4 倍だったのに対し、診療報酬は 6 倍と大変大きなバラツキがみられた。

図 MDC14-1 妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害の入院件数

図 MDC14-2 妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害（出生時体重 1500g 以上 2500g 未満）における平均在院日数（N = 2,118）

図 MDC14-3 妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害（出生時体重 1500g 以上 2500g 未満）における一入院当たり診療報酬〔出来高〕平均値（N = 1,985）

DPC 1402903, 1403003, 1403103, 1403203, 1403303, 1403403, 1403503, 1403603, 1403703

先天性心疾患の手術（心臓血管外科専門医認定機構指定の難易度による分類）

先天性心疾患は MDC14 の全入院件数の約 12% を占めていた。手術例は圧倒的に特定機能病院に集中する傾向があった。難易度が上がるにつれて、特定の施設への集中は強まっていた。

今回この領域で、学会の認定した手術の難易度によるパフォーマンスの違いの分析を試みた。心臓血管外科専門医認定機構は日本胸部外科学会・日本心臓血管外科学会・日本血管外科学会の 3 学会が構成する認定機関で、臨床経験評価のため心臓血管外科領域において難易度で順に A・B・C と 3 段階に定め、C が最も難易度が高いものとしている。詳細な手術の内訳については当該項目の手術件数の図の説明を参照されたい。

手術をした先天性心疾患全件において、難易度 A のものが 28%、難易度 B のものが 35%、難易度 C のものが 37% を占めた。4 ヶ月間で 1 件以上難易度 A の手術を行っていた医療機関は 174 施設中 47% の 81 施設、難易度 B の疾患は 37% の 64 施設、難易度 C の疾患は 30% の 53 施設であった。外れ値を除外し件数が上位 25% にある施設に限った分析で、難易度 A の疾患の手術を施行した入院で死亡率は平均約 1%、難易度 B の疾患は平均約 2%、難易度 C の疾患は平均約 10% であった。

平均在院日数は難易度 A の疾患で約 3 週間、難易度 B の疾患と難易度 C の疾患で共に約 5 週間であった。平均診療報酬〔出来高〕は、難易度 A の疾患で約 230,000 点、難易度 B の疾患で約 350,000 点、難易度 C の疾患で約 480,000 点であった。特定機能病院で診療報酬がやや高い傾向にある。平均在院日数のバラツキ（約 10 倍～50 倍）に比べ、診療報酬〔出来高〕はバラツキが小さくなった（約 3 倍～6 倍）。

図 MDC14-4 心臓血管外科専門医認定機構難易度 A 指定の先天性心疾患の手術件数

図 MDC14-5 心臓血管外科専門医認定機構難易度 A 指定の先天性心疾患における平均在院日数（N = 307）

図 MDC14-6 心臓血管外科専門医認定機構難易度 A 指定の先天性心疾患における一入院当たり診療報酬

〔出来高〕 平均値 (N = 326)

- 図 MDC14-7 心臓血管外科専門医認定機構難易度 B 指定の先天性心疾患の手術件数
- 図 MDC14-8 心臓血管外科専門医認定機構難易度 B 指定の先天性心疾患における平均在院日数 (N = 409)
- 図 MDC14-9 心臓血管外科専門医認定機構難易度 B 指定の先天性心疾患における一入院当たり診療報酬
〔出来高〕 平均値 (N = 450)
- 図 MDC14-10 心臓血管外科専門医認定機構難易度 C 指定の先天性心疾患の手術件数
- 図 MDC14-11 心臓血管外科専門医認定機構難易度 C 指定の先天性心疾患における平均在院日数 (N = 277)
- 図 MDC14-12 心臓血管外科専門医認定機構難易度 C 指定の先天性心疾患における一入院当たり診療報酬
〔出来高〕 平均値 (N = 346)

MDC15 小児疾患

DPC 1500101, 1500103 ウイルス性腸炎（検査入院を含む）

ウイルス性腸炎（検査入院を含む）の入院件数は、MDC 15 の全入院件数の約 62%を占めていた。ウイルス性腸炎（検査入院を含む）の入院件数 1 件以上の医療機関は、174 施設中 169 施設であった。特に、ウイルス性腸炎（検査入院を含む）の入院件数が多い医療機関は、特定機能病院よりその他の参加病院の方に多く見られた。しかし、ウイルス性腸炎（検査入院含む）の診療報酬〔出来高〕（1 入院あたり）は、特定機能病院の方が高い傾向にあった。ウイルス性腸炎（検査入院を含む）の平均在院日数は、4.7 日から 10.5 日とほぼ均一であった。

図 MDC15-1 ウイルス性腸炎の入院件数（検査入院を含む）

図 MDC15-2 ウイルス性腸炎における平均在院日数（検査入院含む）（N = 2,338）

図 MDC15-3 ウイルス性腸炎（検査入院含む）における一入院当たり診療報酬〔出来高〕平均値（N = 2,424）

DPC 150050, 150030 ウイルス性髄膜炎／急性脳炎・急性脳症

ウイルス性髄膜炎／急性脳炎・急性脳症の入院件数 1 件以上の医療機関は、174 施設中 123 施設であった。ウイルス性髄膜炎／急性脳炎・急性脳症の入院件数は、医療機関でバラツキがあった。

図 MDC15-4 ウイルス性髄膜炎／急性脳炎・急性脳症の入院件数

MDC16 外傷・熱傷・中毒・異物、その他の疾患

DPC 1608003 股関節大腿近位骨折

症例の定義：DPC160800「股関節大腿近位骨折」に含まれる症例のうち、大腿骨頸部骨折（S7200）、転子部骨折（S7210：転子貫通骨折、転子間骨折）、転子下骨折（S7220）、大腿骨骨幹部骨折（S7230）、その他に分けて解析を行った。

大腿骨頸部骨折の定義と治療法

DPC	ICD-10			広義にもとづく分類		主な外科的治療法
160800	大腿骨頸部骨折	S72.00	骨頭下骨折	大腿骨頸部骨折	内側骨折 (関節内骨折)	骨頭の転位 *あり：人工骨頭挿入術 *なし：観血的整復内固定術 (compression hip screw : CHS)
			中間部骨折			
	転子貫通骨折 (転子間骨折) (転子部骨折)	S72.10	転子間骨折		外側骨折 (関節外骨折)	観血的整復内固定術 (CHS) ガンマネイル Ender ピン
			転子貫通骨折			
			転子部骨折			
160820	転子下骨折	S72.20		(大腿骨頸部骨折)	(外側骨折)	観血的整復内固定術 (CHS) ガンマネイル
	大腿骨骨幹部骨折	S72.30				Ender ピン キューンチャー 観血的整復内固定術 (プレート法)
160820	大腿骨遠位端骨折	S72.40				観血的整復内固定術

全体の 9 割に当たる 157 施設において、大腿近位骨折（全部位：頸部、転子部、骨幹部を含む）症例に対する手術治療が行われていた。手術治療を要する症例は 4 か月間で平均 10 例ほどであるが、中には 60 件を超えていた施設もあった。術式のうち、観血的手術は全体の 72%を占めていた。そのうち、4 か月間の症例数が 13 例以上であった 46 施設を解析対象とし、大腿近位骨折（全部位：頸部、転子部、骨幹部を含む）における術式を「人工骨頭挿入術」と「骨折観血的（整復内固定）手術」の二つに分類して施行割合について分析したところ、全体的には、関節外骨折に対する手術である骨折観血的手術が 70%を占めていた。術式の内訳は施設間で大きなバラツキがあり、観血的（整復内固定）手術の割合は 25%から 100%まで分布していた。

次に、年齢と部位で分類した分析を行ったところ、174 施設中 166 施設（95%）におい

て大腿近位骨折（全部位：頸部、転子部、骨幹部を含む）1件以上の症例があり、そのうち65歳以上の頸部骨折の症例が全体の53%を占めていた。その他部位における骨折の症例数は平均値では3件であるものの、最大で45件の施設があり、その分布にバラツキがみられた。また症例数が上位25%に相当する12件以上であった46施設に限定して施行割合についてみたところ、65歳以上では、頸部骨折がその他部位の骨折よりもおよそ3倍近くの割合を占めるものの、64歳以下では頸部とその他の部位とでは大きな差はなかった。

また、頸部骨折のみを対象とするためにICD-10コードのS720を用いて同様の分析を行った。ところで、大腿骨頭の血流は大腿骨頸に分布する内側大腿回旋動脈からの枝に依存しているため、大腿骨頸部骨折によって大腿頸に分布する動脈系統が破壊されると大腿骨頭の血流が不十分となり大腿骨頭の虚血性壊死を招いてしまう。そこで、大腿骨頭の転位がある場合には大腿頸に分布する動脈系統の破壊が考えられるため人工骨頭挿入術を施行する。転位がない場合は観血的整復内固定術（compression hip screw）が施行される。解析の結果、174施設中166施設（95%）においていずれかの手術が施行されており、人工骨頭挿入術と骨折観血的手術の施行件数は、およそ4：6であった。このことは、65歳以上においても同様であった。特に、65歳以上の骨折観血的手術の施行件数の分布はバラツキが大きかった（平均値：3.1、最小値：0件、最大値：35件）。さらに、症例数が上位25%に相当する9件以上であった44施設を解析対象として施行割合についても解析したところ、人工骨頭挿入術と骨折観血的手術の施行割合は4：6であり、65歳以上では、両術式ともに0%から100%の施行割合に分布しており、術式の選択に極めて大きなバラツキがみられた。また、年齢の分布は各施設において大差はみられなかった。

さらに、頸部以外のその他の骨折を対象とするためにICD-10コードからS721、S722、S727、S728、S730を用いても同様の分析を行った。174施設中149施設（86%）において1件以上の症例があり、骨折観血的手術の施行件数は全体の98%を占めているが、7施設において1例のみの人工骨頭挿入術が施行されていた。骨折観血的手術の施行件数は平均4.7件であるものの、最大で37件が施行されるなど、施設間でのバラツキがみられた。また施行割合については、症例数が上位25%に相当する4件以上であった44施設を解析対象としたところ、骨折観血的手術は圧倒的に施行割合が高いものの、その年齢分布は非常にバラツキがみられた。また、3施設において、人工骨頭挿入術が施行されていた。

全部位についての平均在院日数の算出は、人工骨頭挿入術、観血的手術の2術式について行った。人工骨頭挿入術施行症例については、外れ値両側5%を除外し、4か月間の大腿近位骨折（全部位：頸部、転子部、骨幹部を含む）の症例数が4件以上（件数上位25%）の46施設を解析対象としたところ、術前在院日数の中央値は約7日で最小約2日、最大約13日と分布の幅は比較的狭いものの、術後在院日数では中央値約43日、最小値約15日、最大約72日とたいへん大きなバラツキを示していた。一方、観血的手術施行症例については症例数が8例以上であった47施設を解析対象としたところ、術前在院日数の中央値は約6日で最小約1日、最大約10日と分布の幅は比較的狭いものの、術後在院日数では中央値

約 35 日、最小値 20 日、最大約 70 日とたいへん大きなバラツキを示していた。

最後に、手術症例について一入院当たり診療報酬〔出来高〕の算出も行った。外れ値両側 5% を除外し、4 か月間の大腿近位骨折（全部位：頸部、転子部、骨幹部を含む）の症例数が 17 件以上 47 施設を解析対象としたところ、全病院における診療報酬〔出来高〕の中央値は約 14 万 2600 点であったが、特定機能病院（12 施設）の中央値はその他の参加病院よりも約 5 万 4000 点高額であった。

- 図 MDC16-1 股関節大腿近位骨折（全部位）における手術施行件数
- 図 MDC16-2 股関節大腿近位骨折（全部位）における手術施行割合（N = 981）
- 図 MDC16-3 股関節大腿近位骨折（全部位）における年齢・部位別入院件数
- 図 MDC16-4 股関節大腿近位骨折（全部位）における年齢・部位別入院割合（N = 1,430）
- 図 MDC16-5 股関節大腿近位骨折（頸部のみ）における年齢・術式別手術施行件数
- 図 MDC16-6 股関節大腿近位骨折（頸部のみ）における年齢・術式別手術施行割合（N = 655）
- 図 MDC16-7 股関節大腿近位骨折（その他部位）における年齢・術式別手術施行件数
- 図 MDC16-8 股関節大腿近位骨折（その他部位）における年齢・術式別手術施行割合（N = 384）
- 図 MDC16-9 股関節大腿近位骨折（全部位）の人工骨頭挿入術施行症例における平均在院日数（N = 289）
- 図 MDC16-10 股関節大腿近位骨折（全部位）の観血的手術施行症例における平均在院日数（N = 695）
- 図 MDC16-11 股関節大腿近位骨折（全部位）手術症例における一入院当たり診療報酬〔出来高〕平均値（N = 1,383）

DPC 1601603 敗血症その他の感染症

最も医療資源を投入した症病名が敗血症その他の感染症(DPC コード 1601603)である入院件数が 1 件以上の医療機関は、174 施設中 171 施設であった。敗血症その他の感染症の年齢別発生件数は、医療機関でのバラツキが見られた。（入院後に合併した敗血症その他の感染症の解析については、MDC 横断解析-1 を参照のこと）

図 MDC16-12 敗血症その他の感染症が最も医療資源を投入した傷病名である症例の年齢別発生件数

DPC 1609803 骨盤骨折

骨盤骨折の入院件数 1 件以上の医療機関は、174 施設中 171 施設であった。また、骨盤骨折の入院件数には、医療機関でのバラツキが見られた。

図 MDC16-13 骨盤骨折の入院件数

DPC 1609903 多発外傷

多発外傷の入院件数 1 件以上の医療機関は、174 施設中 121 施設であった。また、多発外傷の入院件数では、医療機関でのバラツキ見られた。

図 MDC16-14 多発外傷の入院件数

DPC 1610003 熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃症

熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃症の入院件数 1 件以上の医療機関は、174 施設中 124 施設であった。また、入院件数では、医療機関でのバラツキが見られた。

図 MDC16-15 熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃症の入院件数

MDC 横断解析

入院後に発症した敗血症

入院後に合併した敗血症の件数が1件以上の医療機関は、174施設中173施設であった。また、入院後に合併した敗血症の件数は、最も医療資源を投入した症病名が敗血症(DPCコード1601603)である症例よりもはるかに多かった。そして、乳児における入院後敗血症の発生率は、特定機能病院よりもその他の参加病院で高い傾向にあった。また、小児(1～14歳)における入院後敗血症の発生率も、特定機能病院よりもその他の参加病院の方が高かった。しかし、成人(15歳以上)の入院後敗血症の発生率(1000患者・日あたり)は、特定機能病院の方が高い傾向にあった。さらに、成人の入院後敗血症の発生率は、乳児・小児合わせた発生率より低かった。しかし、この解析は医療機関からの報告をもとにしているため、報告バイアスの影響を受けている可能性を否定できない。

- 図 MDC 横断解析-1 入院後に発症した敗血症の件数
- 図 MDC 横断解析-2 入院後に発症した敗血症の発生率(乳児)
- 図 MDC 横断解析-3 入院後に発症した敗血症の発生率(1～14歳)
- 図 MDC 横断解析-4 入院後に発症した敗血症の発生率(15歳以上)

入院後に発症した播種性血管内凝固症候群(DIC)

入院後に合併した播種性血管内凝固症候群(DIC)の入院件数1件以上の医療機関は、174施設中140施設であった。また、入院後に合併したDICの件数は、最も医療資源を投入した症病名がDIC(DPCコード1301003)である症例よりもはるかに多かった。成人(15歳以上)の入院後DICの発生率(1000患者・日あたり)は、特定機能病院で高い傾向にあった。成人の入院後に合併したDICの粗死亡率は、特定機能病院で高い傾向にあった。しかし、この解析は医療機関からの報告をもとにしているため、報告バイアスの影響を受けている可能性を否定できない。

- 図 MDC 横断解析-5 入院後に発症した播種性血管内凝固症候群(DIC)の件数
- 図 MDC 横断解析-6 入院後に発症した播種性血管内凝固症候群(DIC)の発生率(15歳以上)
- 図 MDC 横断解析-7 入院後に発症したDICにおける死亡率(15歳以上)

血漿交換

入院中に血漿交換を施行した件数が1件以上の医療機関は、174施設中112施設であった。入院中に血漿交換を施行した患者数は、医療機関で大きなバラツキが見られた。また、血漿交換が施行された患者の平均利用日数は、1日～11日とバラツキが見られ、血漿交換の利用率(1000患者・日あたりの施行日数)にも、医療機関でバラツキが見られた。

- 図 MDC 横断解析-8 入院中に血漿交換を施行した患者数
- 図 MDC 横断解析-9 血漿交換が施行された患者の平均利用日数
- 図 MDC 横断解析-10 血漿交換の利用率(1000患者・日あたりの施行日数)

人工腎臓

人工腎臓には、血液透析、血液濾過、血液透析濾過が含まれた。人工腎臓を施行した件数が1件以上の医療機関は、174施設中153施設であった。また、人工腎臓を施行した患者数には、医療機関で大きなバラツキが見られた。さらに、人工腎臓を施行した患者の平均利用日数は、1日～32.5日とバラツキが見られた。また、人工腎臓の利用率(1000患者・日あたりの施行日数)にも、医療機関で大きなバラツキが見られた。

図 MDC 横断解析-11 人工腎臓を利用した患者数

図 MDC 横断解析-12 人工腎臓を利用した患者の平均利用日数

図 MDC 横断解析-13 人工腎臓の利用率(1000患者・日当たりの施行日数)

新生児特定集中治療室 (NICU)

新生児特定集中治療室 (NICU)に入室した件数が1件以上の医療機関は、174施設中41施設であった。新生児特定集中治療室 (NICU)に入室した患者数は、医療機関でバラツキが見られた。新生児特定集中治療室 (NICU)に入室した患者の医療機関がごとの平均在室数は、6.2日～75.3日とバラツキが見られた。また、新生児特定集中治療室 (NICU)に入室した患者のうち人工呼吸を利用した患者の割合は、0%～92%と大きなバラツキが見られた。

図 MDC 横断解析-14 新生児特定集中治療室 (NICU)に入室した患者数

図 MDC 横断解析-15 新生児特定集中治療室 (NICU)に入室した患者の出生時体重の分布

図 MDC 横断解析-16 新生児特定集中治療室 (NICU)に入室した出生時体重 1000g 未満の患者における平均在室日数

図 MDC 横断解析-17 新生児特定集中治療室 (NICU)に入室した出生時体重 1000g 以上 1500g 未満の患者における平均在室日数

図 MDC 横断解析-18 新生児特定集中治療室 (NICU)に入室した出生時体重 1500g 以上 2500g 未満の患者における平均在室日数

図 MDC 横断解析-19 新生児特定集中治療室 (NICU)に入室した患者のうち人工呼吸を利用した患者の割合

麻酔

174施設中7施設で麻酔の使用が示されておらず、信頼性に乏しいため残りの167施設で解析を行った。全身麻酔の件数は施設間でバラツキが見られた。また、約半数の症例で全身麻酔を施行していた。内訳別に見ても全身麻酔の割合や硬膜外麻酔／脊髄麻酔の割合には、施設間で大きなバラツキが見られた。さらに、硬膜外麻酔併用が占める割合は、0%～83%と施設間でバラツキが見られた。

図 MDC 横断解析-20 麻酔件数とその内訳 (全身麻酔／硬膜外・脊髄麻酔／局所麻酔／その他の麻酔)

図 MDC 横断解析-21 全ての麻酔施行症例に全身麻酔 (局所麻酔併用を含む) が占める割合

図 MDC 横断解析-22 全身麻酔に硬膜外麻酔併用が占める割合

肺塞栓症

入院中に発生したと考えられる肺塞栓症症例を全 MDC の中から抽出した。抽出症例は、「入院の契機となった傷病名」と「入院時併存症 1～4」以外のすべての病名コード (主傷病名、医療資源を最も投入した傷病名 1～2、入院後発症疾患名 1～4) に肺塞栓症の ICD-10 疾病コード「I260」または「I269」を有する症例と定義したところ、延べ 664 症例を抽出

した。そして、これらの症例は「MDC5の肺塞栓症（050190）にコーディングされていた症例」と「その他の症例（医療資源を最も投入した症例ではないが入院後に発生した症例）」とに分類した。

解析の結果、174施設中135施設（全体の78%）において1件以上の肺塞栓症例があり、全肺塞栓症症例のうち56%はDPC分類の肺塞栓症（050190）にコーディングされていた。10万患者・日あたりの発生率を施設別に算出したところ、中央値で5件/10万患者・日、最大で30件/10万患者・日の発生率であった。

図 MDC横断解析-23 全MDCにおける肺塞栓症発生件数

図 MDC横断解析-24 全MDCにおける肺塞栓症発生率（10万患者・日当たり）

Ⅲ 各種指標の算出結果(グラフ)

『各種指標の算出結果(グラフ)』のリストと定義情報

注)本解析は2003年のデータを対象としているため、2002年の診療報酬点数コードによる分類に基づいています。

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード ^注 /ICD-10等)	解析適用基準	頁
診断群分類番号上位6桁の「分類名」を記載 ただし、「検査入院」については併記	解析の対象となった分類名について、その 解析の内容を記載	分類名・解析内容に該当し、本解析を実施する際に抽出したコードを記載	DPCコード以外に用いた コードの抽出条件を記載	本解析結果を適切に示すために用いた、各種条件を記載	
MDC01:神経系疾患					
1 脳腫瘍	定位放射線治療施行件数(推計)	010010	薬剤材料以外の放射線療法 法点数が63,000点以上		17
2 くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	クリッピング・脳血管内手術の施行件数	0100203x01/ 0100203x02			18
3 非破裂脳動脈瘤	クリッピング・脳血管内手術の施行件数	0100303x01/ 0100303x02			19
4 非破裂脳動脈瘤	クリッピング・脳血管内手術の施行割合	0100303x01/ 0100303x02		件数上位25%(6件以上)の施設対象	20
5 くも膜下出血、破裂脳動脈瘤 および 非破裂脳動脈瘤	脳血管内手術の施行件数	0100203x01/ 0100303x01			21
6 脳梗塞	脳血管内手術の施行件数	0100603x01			22
7 全神経系疾患	脳炎入院件数	010080/ 010083/ 010320	A858(HAM)を除外		23
8 全神経系疾患	放射線療法施行件数	01xxxxxx	DPC基礎調査表(様式1)における「放射線療法の有無」が「1」と入力されているもの		24
MDC02:眼科系疾患					
1 白内障、水晶体の疾患	手術施行例の入院件数	0201103x01/ 0201103x02/ 0201103x03			27
2 白内障、水晶体の疾患	治療内訳	0201103x01/ 0201103x02/ 0201103x03		20件以上の施設対象	28
3 白内障、水晶体の疾患	片側手術を行なった症例における平均在院 日数	0201103x01/ 0201103x02/ 0201103x03	DPC14桁目:0	外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	29
4 白内障、水晶体の疾患	両側手術を行なった症例における平均在院 日数	0201103x01/ 0201103x02/ 0201103x03	DPC14桁目:1	外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	30
5 白内障、水晶体の疾患	片側手術を施行した症例における一入院当 たり診療報酬(出来高)平均値	0201103x01/ 0201103x02/ 0201103x03	DPC14桁目:0	外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	31
6 白内障、水晶体の疾患	両側手術を施行した症例における一入院当 たり診療報酬(出来高)平均値	0201103x01/ 0201103x02/ 0201103x03	DPC14桁目:1	外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	32
7 裂孔原性網膜剥離	入院件数	0201703			33
8 緑内障	入院件数	0202203			34
MDC03:耳鼻咽喉科系疾患					
1 喉頭の悪性腫瘍	入院件数	0300903			37

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード [※] /ICD-10等)	解析適用基準	頁
2 喉頭の悪性腫瘍	治療内訳	0300903		件数上位25%(9件以上)の施設対象	38
3 喉頭の悪性腫瘍	手術を施行した症例における平均在院日数	0300903x01/ 03009003x02/ 0300903x03/0300903x04/ 0300903x05		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(7件以上)の施設対象	39
4 喉頭の悪性腫瘍	手術を施行した症例における一入院当たり 診療報酬(出来高)平均値	0300903x01/ 03009003x02/ 0300903x03/0300903x04/ 0300903x05		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(10件以上)の施設対象	40
5 睡眠時無呼吸(検査入院+その他の入院)	入院件数	0302501/ 0302503			41
6 睡眠時無呼吸(検査入院+その他の入院)	治療内訳	0302501/ 0302503		20件以上の施設対象	42
7 睡眠時無呼吸(検査入院)	平均在院日数	0302501/ 0302503		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	43
8 睡眠時無呼吸(検査入院)	一入院当たり診療報酬(出来高)平均値	0302501/ 0302503		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	44
9 慢性脳性中耳炎・中耳真珠腫	入院件数	0304403			45
10 慢性脳性中耳炎・中耳真珠腫	平均在院日数	0304403		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(17件以上)の施設対象	46
11 慢性脳性中耳炎・中耳真珠腫	手術を施行した症例における一入院当たり 診療報酬(出来高)平均値	0304403x01/ 0304403x02		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(18件以上)の施設対象	47

MDC04:呼吸器系疾患

1 肺の悪性腫瘍	手術件数	0400403x01/ 0400403x02/ 0400403x03/ 0400403x04			51
2 肺の悪性腫瘍	手術施行例における胸腔鏡手術の施行割 合	0400403x01/ 0400403x02/ 0400403x03/ 0400403x04	K514-2/ K513	20件以上の施設対象	52
3 肺の悪性腫瘍	手術施行例における平均在院日数	0400403x01/ 0400403x02/ 0400403x03/ 0400403x04		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	53
4 肺の悪性腫瘍	手術施行例における一入院当たり診療報酬 (出来高)平均値	0400403x01/ 0400403x02/ 0400403x03/ 0400403x04		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	54
5 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	6歳以上の肺炎の入院件数	04008030			55
6 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	6歳以上の肺炎における平均在院日数	04008030		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	56
7 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	6歳以上の肺炎における一入院当たり診療 報酬(出来高)平均値	04008030		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	57
8 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	6歳未満の肺炎の入院件数	04008031			58
9 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	6歳未満の肺炎における平均在院日数	04008031		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	59
10 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	6歳未満の肺炎における一入院当たり診療 報酬(出来高)平均値	04008031		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	60
11 慢性閉塞性肺疾患	入院件数	0401203			61

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード [※] /ICD-10等)	解析適用基準	頁
MDC05:循環器系疾患					
1 狭心症、慢性虚血性心疾患	冠動脈バイパス術・経皮的冠動脈インターベンションの施行件数	0500503x02/ 0500503x03/ 0500503x05/ 0500503x06/ 0500503x07/ 0500503x08			65
2 狭心症、慢性虚血性心疾患	冠動脈バイパス術・経皮的冠動脈インターベンションの施行割合	0500503x02/ 0500503x03/ 0500503x05/ 0500503x06/ 0500503x07/ 0500503x08		20件以上の施設対象	66
3 狭心症、慢性虚血性心疾患	冠動脈バイパス術の術式別施行件数	0500503x02/ 0500503x03			67
4 狭心症、慢性虚血性心疾患	冠動脈バイパス術施行件数	0500503x02/ 0500503x03			68
5 狭心症、慢性虚血性心疾患	冠動脈バイパス術施行症例における平均在院日数	0500503x02/ 0500503x03		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(14件以上)の施設対象	69
6 狭心症、慢性虚血性心疾患	冠動脈バイパス術施行症例における一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	0500503x02/ 0500503x03		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(13件以上)の施設対象	70
7 狭心症、慢性虚血性心疾患	経皮的冠動脈インターベンションの施行件数	0500503x05/ 0500503x06/ 0500503x07/ 0500503x08			71
8 狭心症、慢性虚血性心疾患	経皮的冠動脈インターベンションの施行割合	0500503x05/ 0500503x06/ 0500503x07/ 0500503x08		20件以上の施設対象	72
9 狭心症、慢性虚血性心疾患	経皮的冠動脈インターベンション施行症例における平均在院日数	0500503x05/ 0500503x06/ 0500503x07/ 0500503x08		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	73
10 狭心症、慢性虚血性心疾患	経皮的冠動脈インターベンション施行症例における一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	0500503x05/ 0500503x06/ 0500503x07/ 0500503x08		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	74
11 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	治療内訳件数	050030	K5881/ K5882/ K614/ K614-2/ K614-3/ K615		75
12 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	治療内訳	050030	K5881/ K5882/ K614/ K614-2/ K614-3/ K615	20件以上の施設対象	76
13 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	冠動脈バイパス術・経皮的冠動脈インターベンションの施行件数	0500303x02/ 0500303x03/ 0500303x04/ 0500303x05	K614/ K614-2/ K614-3/ K615		77
14 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	冠動脈バイパス術・経皮的冠動脈インターベンションの施行割合	0500303x02/ 0500303x03/ 0500303x04/ 0500303x05	K614/ K614-2/ K614-3/ K615	件数上位25%(18件以上)の施設対象	78
15 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	冠動脈バイパス術の術式別施行件数	0500303x02/ 0500303x03			79
16 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	冠動脈バイパス術の施行件数	0500303x02/ 0500303x03			80
17 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	経皮的冠動脈インターベンションの施行件数	0500303x04/ 0500303x05	K614/ K614-2/ K614-3/ K615		81
18 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	経皮的冠動脈インターベンションの施行割合	0500303x04/ 0500303x05	K614/ K614-2/ K614-3/ K615	件数上位25%(17件以上)の施設対象	82
19 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	経皮的冠動脈インターベンション施行症例における平均在院日数	0500303x04/ 0500303x05	K614/ K614-2/ K614-3/ K615	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(17件以上)の施設対象	83
20 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	経皮的冠動脈インターベンション施行症例における一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	0500303x04/ 0500303x05	K614/ K614-2/ K614-3/ K615	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(16件以上)の施設対象	84
21 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	観測死亡率と予測死亡率	050030	ICD-10:入院の契機となった 傷病名がI21/ I22であるもの	20件以上の施設対象	85

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード [※] /ICD-10等)	解析適用基準	頁
22 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞および狭心症、慢性虚血性心疾患	冠動脈バイパス術の術式別施行件数	0500303x02/ 0500503x02/ 0500303x03/ 0500503x03			86
23 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞および狭心症、慢性虚血性心疾患	冠動脈バイパス術の術式別施行割合	0500303x02/ 0500503x02/ 0500303x03/ 0500503x03		件数上位25%(15件以上)の施設対象	87
24 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞および狭心症、慢性虚血性心疾患	経皮的冠動脈インターベンションの施行件数	0500303x04/ 0500303x05/ 0500503x05/ 0500503x06/ 0500503x07/ 0500503x08	K614/ K614-2/ K614-3/ K615		88
25 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞および狭心症、慢性虚血性心疾患	経皮的冠動脈インターベンションの施行割合	0500303x04/ 0500303x05/ 0500503x05/ 0500503x06/ 0500503x07/ 0500503x08	K614/ K614-2/ K614-3/ K615	20件以上の施設対象	89
26 弁膜症	手術件数	0500803x01/ 0500803x02/ 0500803x03/ 0500803x04			90
27 解離性大動脈瘤および破裂性大動脈瘤および非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	大動脈瘤切除術の施行件数	0501613x01~0501613x04/ 0501613x06/ 0501613x07/ 0501623x01~0501623x03/ 0501623x07/ 0501623x08/ 0501633x01~0501633x08			91
28 全循環器系疾患	【特掲診療料施設基準】冠動脈バイパス術・ 対外循環を用いる手術の施行件数	05xxxxxx	K588/ K598		92
29 全循環器系疾患	【特掲診療料施設基準】経皮的冠動脈インター ベンションの施行件数	05xxxxxx	K614/ K614-2/ K614-3/ K615		93
30 全循環器系疾患	【特掲診療料施設基準】ハースメーカー移植術・ 交換術の施行件数	05xxxxxx	K552/ K554		94

MDC06: 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患

1 食道の悪性腫瘍	手術件数	0600103x01/ 0600103x02/ 0600103x03/ 0600103x04/ 0600103x05			97
2 食道の悪性腫瘍	手術を施行した症例における平均在院日数	0600103x01/ 0600103x02/ 0600103x03/ 0600103x04/ 0600103x05		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(4件以上)の施設対象	98
3 食道の悪性腫瘍	手術を施行した症例における一入院当たり 診療報酬(出来高)平均値	0600103x01/ 0600103x02/ 0600103x03/ 0600103x04/ 0600103x05		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(6件以上)の施設対象	99
4 胃の悪性腫瘍	手術件数	0600203x01/ 0600203x02/ 0600203x03/ 0600203x04/ 0600203x05			100
5 胃の悪性腫瘍	手術を施行した症例における平均在院日数	0600203x01/ 0600203x02/ 0600203x03/ 0600203x04/ 0600203x05		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	101
6 胃の悪性腫瘍	手術を施行した症例における一入院当たり 診療報酬(出来高)平均値	0600203x01/ 0600203x02/ 0600203x03/ 0600203x04/ 0600203x05		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	102
7 大腸の悪性腫瘍	手術件数	0600303x01/ 0600303x06/ 0600303x07			103
8 大腸の悪性腫瘍	結腸切除術を施行した症例における平均在 院日数	0600303x01		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(16件以上)の施設対象	104
9 大腸の悪性腫瘍	結腸切除術を施行した症例における一入院 当たり診療報酬(出来高)平均値	0600303x01		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(16件以上)の施設対象	105
10 直腸肛門の悪性腫瘍	手術件数	0600403x01/ 0600403x02/ 0600403x03/ 0600403x04/ 0600403x07			106
11 直腸肛門の悪性腫瘍	手術を施行した症例における平均在院日数	0600403x01/ 0600403x02/ 0600403x03/ 0600403x04/ 0600403x07		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(10件以上)の施設対象	107
12 直腸肛門の悪性腫瘍	手術を施行した症例における一入院当たり 診療報酬(出来高)平均値	0600403x01/ 0600403x02/ 0600403x03/ 0600403x04/ 0600403x07		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(13件以上)の施設対象	108

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード [※] /ICD-10等)	解析適用基準	頁
13 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	入院件数	0600503			109
14 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	治療内訳	0600503		20件以上の施設対象	110
15 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	肝切除術を施行した症例における平均在院日数	0600503x01/ 0600503x02		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(12件以上)の施設対象	111
16 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	肝切除術を施行した症例における一入院当たり診療報酬(出来高)平均値	0600503x01/ 0600503x02		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(13件以上)の施設対象	112
17 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	マイクログ波凝固法を施行した症例における平均在院日数	0600503x03		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(12件以上)の施設対象	113
18 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	マイクログ波凝固法を施行した症例における一入院当たり診療報酬(出来高)平均値	0600503x03		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(13件以上)の施設対象	114
19 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	血管塞栓術を施行した症例における平均在院日数	0600503x05		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	115
20 肝・肝内胆管の悪性腫瘍	血管塞栓術を施行した症例における一入院当たり診療報酬(出来高)平均値	0600503x05		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	116
21 膵臓の悪性腫瘍	手術件数	0600703x06/ 0600703x07/ 0600407x11/ 0600703x12/ 0600407x13			117
22 膵臓の悪性腫瘍	手術を施行した症例における平均在院日数	0600703x06/ 0600703x07/ 0600407x11/ 0600703x12/ 0600407x13		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(4件以上)の施設対象	118
23 膵臓の悪性腫瘍	手術を施行した症例における一入院当たり診療報酬(出来高)平均値	0600703x06/ 0600703x07/ 0600407x11/ 0600703x12/ 0600407x13		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(5件以上)の施設対象	119
24 急性肝炎、急性肝不全、急性肝炎/急性肝炎炎(慢性肝炎疾患の急性増悪を含む)、急性C型肝炎を除く。)/急性C型肝炎/肝硬変(胆汁性肝硬変を含む)	生体肝移植件数	060270x00/ 060275x00/ 060278x00/ 060300x00			120
25 慢性肝炎、急性肝不全、急性肝炎/急性肝炎炎(慢性肝炎疾患の急性増悪を含む)、急性C型肝炎を除く。)/急性C型肝炎/肝硬変(胆汁性肝硬変を含む)	生体肝移植における平均在院日数	060270x00/ 060275x00/ 060278x00/ 060300x00		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(3件以上)の施設対象	121
26 慢性肝炎、急性肝不全、急性肝炎/急性肝炎炎(慢性肝炎疾患の急性増悪を含む)、急性C型肝炎を除く。)/急性C型肝炎/肝硬変(胆汁性肝硬変を含む)	生体肝移植における一入院当たり診療報酬(出来高)平均値	060270x00/ 060275x00/ 060278x00/ 060300x00		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(3件以上)の施設対象	122
27 胆嚢疾患(胆嚢結石など)/胆嚢水腫、胆嚢炎等/胆管(肝内外)結石	胆嚢摘出術の手術件数	開腹: 060330x03/ 060335x03/ 060340x12 腹腔鏡: 060330x04/ 060335x04/ 060340x11	K672/ K672-2		123
28 胆嚢疾患(胆嚢結石など)/胆嚢水腫、胆嚢炎等/胆管(肝内外)結石	胆嚢摘出術の開腹・腹腔鏡施行割合	開腹: 060330x03/ 060335x03/ 060340x12 腹腔鏡: 060330x04/ 060335x04/ 060340x11	K672/K672-2	20件以上の施設対象	124
29 胆嚢疾患(胆嚢結石など)/胆嚢水腫、胆嚢炎等/胆管(肝内外)結石	開腹による胆嚢摘出術における平均在院日数	060330x03/ 060335x03/ 060340x12	K672/K672-2	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(13件以上)の施設対象	125
30 胆嚢疾患(胆嚢結石など)/胆嚢水腫、胆嚢炎等/胆管(肝内外)結石	開腹による胆嚢摘出術における一入院当たり診療報酬(出来高)平均値	060330x03/ 060335x03/ 060340x12	K672/K672-2	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(14件以上)の施設対象	126
31 胆嚢疾患(胆嚢結石など)/胆嚢水腫、胆嚢炎等/胆管(肝内外)結石	腹腔鏡下胆嚢摘出術における平均在院日数	060330x04/ 060335x04/ 060340x11	K672/K672-2	外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	127
32 胆嚢疾患(胆嚢結石など)/胆嚢水腫、胆嚢炎等/胆管(肝内外)結石	腹腔鏡下胆嚢摘出術における一入院当たり診療報酬(出来高)平均値	060330x04/ 060335x04/ 060340x11	K672/K672-2	外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	128
33 急性膵炎	入院件数	0603503			129
34 急性膵炎	治療内訳	0603503		件数上位25%(7件以上)の施設対象	130

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード [※])/ICD-10等)	解析適用基準	頁
35 急性肺炎	平均在院日数	0603503		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(7件以上)の施設対象	131
36 急性肺炎	一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	0603503		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(7件以上)の施設対象	132

MDC07: 筋骨格系疾患

1 股関節症(変形性を含む)	人工関節置換術の施行件数	0702203x02			135
2 股関節症(変形性を含む)	人工関節置換術の施行割合	0702203x02		件数上位25%(16件以上)の施設対象	136
3 股関節症(変形性を含む)	人工関節置換術施行症例における平均在院日数	0702203x02		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(11件以上)の施設対象	137
4 股関節症(変形性を含む)	人工関節置換術施行症例における一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	0702203x02		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(14件以上)の施設対象	138
5 膝関節症(変形性を含む)	人工関節置換術の施行件数	0702303x02	K082		139
6 膝関節症(変形性を含む)	人工関節置換術の施行割合	0702303x02	K082	件数上位25%(10件以上)の施設対象	140
7 膝関節症(変形性を含む)	人工関節置換術施行症例における平均在院日数	0702303x02	K082	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(7件以上)の施設対象	141
8 膝関節症(変形性を含む)	人工関節置換術施行症例における一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	0702303x02	K082	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(9件以上)の施設対象	142
9 全筋骨格系疾患	【特掲診療料施設基準】人工関節置換術の施行件数	07xxxxx	K082		143

MDC08: 皮膚・皮下組織の疾患

1 帯状疱疹	入院件数	0800203			147
2 帯状疱疹	平均在院日数	0800203		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(12件以上)の施設対象	148
3 帯状疱疹	一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	0800203		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(13件以上)の施設対象	149
4 水疱症	入院件数	0801103			150

MDC09: 乳房の疾患

1 乳房の悪性腫瘍	術式別手術施行件数	0900103x01	K4761/ K4762/ K4763/ K4764/ K4765/ ICD-10: C50		153
2 乳房の悪性腫瘍	術式別手術施行割合	0900103x01	K4761/ K4762/ K4763/ K4764/ K4765/ ICD-10: C50	20件以上の施設対象	154
3 乳房の悪性腫瘍	乳房部分切除術(乳房温存術)施行症例における平均在院日数	0900103x01	K4762/ ICD-10: C50	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(12件以上)の施設対象	185
4 乳房の悪性腫瘍	乳房部分切除術(乳房温存術)施行症例における一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	0900103x01	K4762/ ICD-10: C50	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(12件以上)の施設対象	156

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード ^{※注} /ICD-10等)	解析適用基準	頁
5 乳房の悪性腫瘍	乳房切除術施行症例における平均在院日数	0900103x01	K4761/ K4763/ K4764/ K4765/ ICD-10: C50	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(12件以上)の施設対象	157
6 乳房の悪性腫瘍	乳房切除術施行症例における一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	0900103x01	K4761/ K4763/ K4764/ K4765/ ICD-10: C50	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(12件以上)の施設対象	158

MDC10: 内分泌・栄養・代謝に関する疾患

1 甲状腺の悪性腫瘍	入院件数	1000203			161
2 甲状腺の悪性腫瘍	施行内訳件数	1000203		件数上位25%(11件以上)の施設対象	162
3 甲状腺の悪性腫瘍	施行割合	1000203		件数上位25%(11件以上)の施設対象	163
4 2型糖尿病(教育入院)	入院件数	1000702			164
5 2型糖尿病(教育入院)	平均在院日数	1000702		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(13件以上)の施設対象	165
6 2型糖尿病(教育入院)	一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	1000702		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(17件以上)の施設対象	166
7 甲状腺機能亢進症	入院件数	1001403			167
8 甲状腺機能亢進症	施行内訳件数	1001403		件数上位25%(6件以上)の施設対象	168
9 甲状腺機能亢進症	治療内訳割合	1001403		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(6件以上)の施設対象	169
10 甲状腺機能亢進症	手術を施行した症例における平均在院日数	1001403x01/ 1101403x02		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(6件以上)の施設対象	170
11 甲状腺機能亢進症	手術を施行した症例における一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	1001403x01/ 1101403x02		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(3件以上)の施設対象	171
12 甲状腺機能亢進症	手術を施行しなかった症例における平均在院日数	1001403x97/ 1101403x99		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(6件以上)の施設対象	172
13 甲状腺機能亢進症	手術を施行しなかった症例における一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	1001403x97/ 1101403x99		外れ値両側5%は除外 件数上位25%(6件以上)の施設対象	173

MDC11: 腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患

1 膀胱腫瘍	入院件数	1100703			177
2 膀胱腫瘍	治療内訳	1100703		20件以上の施設対象	178
3 前立腺の悪性腫瘍	入院件数	1100803			179
4 前立腺の悪性腫瘍	治療内訳	1100803		20件以上の施設対象	180
5 上部尿路結石症	入院件数	1101203			181

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード [※])/ICD-10等)	解析適用基準	頁
6 上部尿路結石症	治療内訳	1101203		件数上位25%(14件以上)の施設対象	182
7 前立腺肥大症	入院件数	1102003			183
8 前立腺肥大症	施行する手術の術式選択	1102003x01/ 1102003x02/ 1102003x03/ 1102003x04		件数上位25%(11件以上)の施設対象	184
9 ホルモン療法群/急性腎炎症候群・急速進行性腎炎症候群/ 慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	同種腎移植術の施行件数	1102603/1102703/1102803	手術フラグ:00		185
10 ホルモン療法群/急性腎炎症候群・急速進行性腎炎症候群/ 慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	同種腎移植術における平均在院日数	1102603/1102703/1102803	手術フラグ:00	外れ値両側5%は除外 1件以上の施設対象	186
MDC12: 女性生殖系疾患・異常妊娠分娩					
1 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍、子宮頸部・ 体部の悪性腫瘍	部位別入院件数	120010/ 120020	ICD-10: C56/ C53/ C54		189
2 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍、子宮頸部・ 体部の悪性腫瘍	部位別入院割合	120010/ 120020	ICD-10: C56/ C53/ C54	20件以上の施設対象	190
3 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍、子宮頸部・ 体部の悪性腫瘍	部位別手術施行件数	1200103x01/ 1200103x02/ 1200203x01/ 1200203x02/ 1200203x03	ICD-10: C56/ C53/ C54		191
4 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	卵巣の悪性腫瘍手術施行症例における平均 在院日数	1200103x01/ 1200103x02	IDC-10: C56	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(8件以上)の施設対象	192
5 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	卵巣の悪性腫瘍手術施行症例における一 入院当たり診療報酬[出来高]平均値	1200103x01/ 1200103x02	IDC-10: C56	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(8件以上)の施設対象	193
6 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	卵巣の悪性腫瘍手術未症例における平均 在院日数	1200103x99	IDC-10: C56	外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	194
7 子宮頸部・体部の悪性腫瘍	子宮頸部の悪性腫瘍手術施行症例におけ る平均在院日数	1200203x01/ 1200203x02/ 1200203x03	ICD-10: C53	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(7件以上)の施設対象	195
8 子宮頸部・体部の悪性腫瘍	子宮頸部の悪性腫瘍手術施行症例におけ る一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	1200203x01/ 1200203x02/ 1200203x03	ICD-10: C53	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(7件以上)の施設対象	196
9 子宮頸部・体部の悪性腫瘍	子宮頸部の悪性腫瘍手術未症例における 平均在院日数	1200203x99	ICD-10: C53	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(15件以上)の施設対象	197
10 子宮頸部・体部の悪性腫瘍	子宮体部の悪性腫瘍手術施行症例におけ る平均在院日数	1200203x01/ 1200203x02/ 1200203x03	ICD-10: C54	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(6件以上)の施設対象	198
11 子宮頸部・体部の悪性腫瘍	子宮体部の悪性腫瘍手術施行症例におけ る一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	1200203x01/ 1200203x02/ 1200203x03	ICD-10: C54	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(7件以上)の施設対象	199
12 子宮頸部・体部の悪性腫瘍	子宮体部の悪性腫瘍手術未症例における 平均在院日数	1200203x99	ICD-10: C54	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(12件以上)の施設対象	200
13 子宮の良性腫瘍	術式別手術施行件数	1200603x01/ 1200603x02/ 1200603x03	K8721/ K8722/ K872-2/ K873/ K876/ K877/ K877-2		201
14 子宮の良性腫瘍	術式別手術施行割合	1200603x01/ 1200603x02/ 1200603x03	K8721/ K8722/ K872-2/ K873/ K876/ K877/ K877-2	件数上位25%(19件以上)の施設対象	202
15 子宮の良性腫瘍	45歳以下の術式別手術施行件数	1200603x01/ 1200603x02/ 1200603x03	K8721/ K8722/ K872-2/ K873/ K876/ K877/ K877-2/ 年齢:45歳以下		203
16 子宮の良性腫瘍	45歳以下の術式別手術施行割合	1200603x01/ 1200603x02/ 1200603x03	K8721/ K8722/ K872-2/ K873/ K876/ K877/ K877-2/ 年齢:45歳以下	件数上位25%(17件以上)の施設対象	204

分類名	解析内容	該当DPCコード	その他の抽出条件 (Kコード [※] /ICD-10等)	解析適用基準	頁
17 子宮の良性腫瘍	手術症例における平均在院日数	1200603x01	K8721/ K8722/ K876/ K877	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(19件以上)の施設対象	205
18 子宮の良性腫瘍	子宮全摘術症例における平均在院日数	1200603x01	K876/ K877	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(13件以上)の施設対象	206
19 子宮の良性腫瘍	子宮筋腫核出術症例における平均在院日数	1200603x01	K8721/ K8722	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(6件以上)の施設対象	207
20 子宮の良性腫瘍	子宮の良性腫瘍症例における一入院当たり 診療報酬[出来高]平均値	120603		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	208

MDC13: 血液・造血器・免疫臓器の疾患

1 急性白血病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫、免疫性白血病/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/再生不良性貧血	血液・造血系悪性疾患の入院件数	1300103/ 1300203/ 1300303/ 1300403/ 1300503/ 1300603/ 1300803			211
2 急性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫、免疫性白血病/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/再生不良性貧血	血液・造血系悪性疾患における平均在院日数	1300103/ 1300203/ 1300303/ 1300403/ 1300503/ 1300603/ 1300803		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	212
3 急性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫、免疫性白血病/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/再生不良性貧血	血液・造血系悪性疾患における一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	1300103/ 1300203/ 1300303/ 1300403/ 1300503/ 1300603/ 1300803		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	213
4 急性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫、免疫性白血病/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/再生不良性貧血	骨髄移植の入院件数	1300103x01/ 1300203x01/ 1300303x01/ 1300403x01/ 1300503x01/ 1300603x01/ 1300703x01/ 1300803x01/ 1300903x01	K922 ICD-10:41.0\$		214
5 急性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫、免疫性白血病/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/再生不良性貧血	骨髄移植の生存件数と死亡件数	1300103x01/ 1300203x01/ 1300303x01/ 1300403x01/ 1300503x01/ 1300603x01/ 1300703x01/ 1300803x01/ 1300903x01	K922 ICD-10:41.0\$	件数上位25%(6件以上)の施設対象	215
6 急性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫、免疫性白血病/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/再生不良性貧血	骨髄移植における平均在院日数	1300103x01/ 1300203x01/ 1300303x01/ 1300403x01/ 1300503x01/ 1300603x01/ 1300703x01/ 1300803x01/ 1300903x01	K922 ICD-10:41.0\$	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(6件以上)の施設対象	216
7 急性白血病/ホジキン病/非ホジキンリンパ腫/多発性骨髄腫、免疫性白血病/慢性白血病、骨髄増殖性疾患/骨髄異形成症候群/再生不良性貧血	骨髄移植における一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	1300103x01/ 1300203x01/ 1300303x01/ 1300403x01/ 1300503x01/ 1300603x01/ 1300703x01/ 1300803x01/ 1300903x01	K922 ICD-10:41.0\$	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(6件以上)の施設対象	217
8 急性白血病	入院件数	1300103			218
9 急性白血病	平均在院日数	1300103		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	219
10 急性白血病	一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	1300103		外れ値両側5%は除外 20件以上の施設対象	220
11 播種性血管内凝固症候群	年齢別の発生数	1301003			221

MDC14: 新生児疾患、先天性奇形

1 妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害	入院件数	1400103			225
2 妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害	平均在院日数	1400103		外れ値両側5%を除外 20件以上の施設を解析対象	226
3 妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害	一入院当たり診療報酬[出来高]平均値	1400103		外れ値両側5%を除外 件数上位25%(10件以上)の施設対象	227
4 動脈管閉存症/心室中隔欠損症/心室中隔欠損症/非短絡性心奇形/新生児乳児の先天性心疾患	心臓血管外科専門医認定機構難易度A指定の先天性心疾患の手術件数	1402903/ 1403003/ 1403103/ 1403403/ 1403603	附表を参照		228
5 動脈管閉存症/心室中隔欠損症/心室中隔欠損症/非短絡性心奇形/新生児乳児の先天性心疾患	心臓血管外科専門医認定機構難易度A指定の先天性心疾患における平均在院日数	1402903/ 1403003/ 1403103/ 1403403/ 1403603	附表を参照	外れ値両側5%は除外 件数上位25%(3件以上)の施設対象	229